

朝読書のメリット！ 10分間の集中 8:35～8:45

人の脳は、朝起きてから夜寝るまでの間に毎日たくさんの情報がインプットされます。そして、その情報をもとに、悩んだり、考えたり、などを繰り返しています。夜の睡眠中は、脳の中で、昼間にインプットされた情報が散らかっている状態から、整理をしている時間帯です。

そして翌朝になると、頭の中が整理されて、今日の情報をインプットしていけるようにスペースができています。この状態で読書をすることで、読書内容を理解しやすいと感じたり、強い意識を持たずとも集中できたり、その結果、脳の回転数が上がり、程よいモチベーションで授業に取り組めるようになるのです。

今年度は、4月から朝読書のサポート【本の貸し出し】に図書研修部で日替わりに学年ごとに巡回しました。多くの生徒の皆さんが読書に取り組んでいる姿を見てうれしく思っています。『継続は力なり』この活動をより充実させていきましょう。

4つの原則・・・「みんなでやる」「毎日やる」「好きな本でよい」「ただ読むだけ」

読書環境をみんなで作ろう！

- ① 「静かで集中しやすい教室」
- ② 「スマホや他のデバイス<タブレット>を使用しない」
- ③ 「課題や授業の予習・復習はしない」



新しい学年への準備はOK！

情報格差と情報リテラシー

【3月3日に高津にモスバーガーができたね。】

【4月から石見交通の横田線の時刻表が変わるらしいよ。】

情報を知っているか知らないかで、生活に大きな影響が出てことがあります。必要な情報を正しく手に入れるためのツールを持つことや、情報を共有できる仲間がいることは、生きていく上でとても大切なことです。面倒くさいことは、周りの大人がやってくれ

ます。でも、皆さんもあと1年か2年で大人としてやっていかなければなりません。(18歳で成人:選挙権が与えられ、様々な契約も自分でできます)。なので、今のうちから少しずつ生活するためのルールや負担を知り、準備しておいた方が良いでしょう。世の中の動き・情報に敏感になってください。

その有効な手段の一つが新聞を読むことだと思います。授業や時事問題などで、新聞やニュースに触れる機会はあったかと思いますが、毎日少しの時間でいいので新聞を読んでみましょう。

当日の新聞は、山陰中央新報は職員室前の廊下、朝日新聞・毎日新聞は図書館で読むことができます。また図書館には、4社(山陰中央、朝日、毎日、読売)が、過去10日分まとめて置いてあり、1年前の新聞も書庫に保管してあります。毎日読めない人は、週に1回だけでも図書館に来てみてください。活字を読むことは、漢字の勉強や文章作成力のアップにもつながります。課題研究のネタも見つかるかもしれません。

ニュースは見てるよ、知ってるよと思った皆さん、その情報源は何ですか？ SNSだけだとしたら、とても心配です。SNSは便利で簡単に情報が最新だけど、正確なものかどうかの保証はありません。根拠(エビデンス)のある発信なのか、個人の意見なのか、悪意を持ったものかなどは、一読しただけで判断はできません。判断してはいけないと思います。

何かの情報が発信された場合や手元に届いた場合、SNSにはこう書いてあるけど……新聞には？ ヤフーニュースには？ といくつかを読み比べると、信頼性が高まると思います。

【読んでみよう！】 『ネット情報におぼれない学び方』 梅澤貴典著 岩波ジュニア新書

『ネットとSNSを安全に使いこなす方法』 ルーイ・ストウエル著 東京書籍

